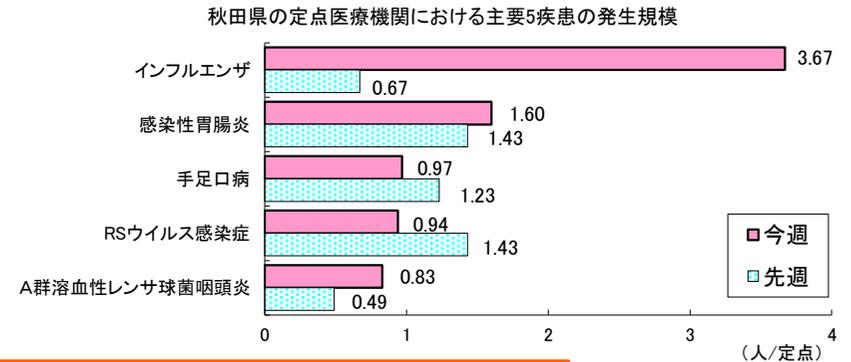




【第46週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. インフルエンザは、県全体で5.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大仙、横手、湯沢で増加、大館、北秋田、由利本荘で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、由利本荘、横手で増加、北秋田、秋田中央、大仙で同規模、大館、能代、湯沢で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で21%減少しています。保健所別では、能代、秋田中央、由利本荘、大仙で増加、横手で同規模、秋田市、大館、湯沢で減少しています。



発生報告

インフルエンザの発生規模が、流行の目安である1.0(人/定点)を超え、流行期に入りました。

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢				
	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減	第45週	第46週	増減																							
RSウイルス感染症	1.43	0.94	↘	3.29	2.00	↘	0.25	0.25		0.50	6.00	↗	1.00	0.33	↘	1.25	0.25	↘	1.50	0.75	↘	1.75		↘	1.33	0.33	↘					
インフルエンザ	0.67	3.67	↗	0.64	0.82	↗	0.29	0.14	↘	0.33		↘				0.50	0.33	↘		4.00	↗		4.00	↗	0.60	4.40	↗	4.00	27.20	↗		
咽頭結膜熱	0.03	0.17	↗		0.14	↗		0.75	↗							0.25	0.25			0.25	↗											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.49	0.83	↗	0.57	1.71	↗				1.00	0.50	↘		0.33	↗	2.50	1.50	↘		0.25	↗		0.50	↗		1.00	↗	0.25	0.75	↗		
感染性胃腸炎	1.43	1.60	↗	1.57	2.71	↗	1.50	0.75	↘	0.50	0.50		4.00	3.00	↘	1.75	1.75		1.00	↗	1.00	1.00		1.67	2.67	↗	1.00	0.25	↘			
水痘	0.14	0.43	↗	0.14	1.00	↗	0.25	0.50	↗					0.33	↗	0.25		↘		1.00	↗	0.25		↘		0.33	↗	0.25		↘		
手足口病	1.23	0.97	↘	2.71	0.57	↘	1.25		↘				0.33	2.33	↗		0.50	↗	0.25	0.50	↗	0.50	2.25	↗	1.00	1.00		3.00	1.75	↘		
伝染性紅斑	0.37	0.03	↘				0.25	0.25								0.25		↘												2.75		↘
突発性発しん	0.09	0.14	↗		0.29	↗	0.50	0.50					0.33	0.33																		
ヘルパンギーナ	0.09	0.09		0.29	0.43	↗															0.25		↘									
流行性耳下腺炎	0.03	0.09	↗								0.50	↗		0.33	↗				0.25	0.25												
川崎病																																
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*				
流行性角結膜炎	0.29		↘	0.33		↘				*	*		*	*							1.00		↘				*	*				
細菌性髄膜炎	0.13		↘													*	*				1.00		↘									
無菌性髄膜炎																*	*															
マイコプラズマ肺炎	0.63	0.13	↘													*	*		4.00		↘	1.00	1.00									
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*															
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*															

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症の後天性免疫不全症候群が1人、播種性クリプトコックス症が能代保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から1人、北秋田保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-45週 全国	秋田	46週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	18187	99	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	5		
	細菌性赤痢	90	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3391	35	1
	腸チフス	34		
	バラチフス	16		
四類	E型肝炎	429	4	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	391	7	
	エキノコックス症	18		
	黄熱			
	オウム病	13		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	3		
	重症熱性血小板減少症候群	96		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
タニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-45週 全国	秋田	46週 秋田
四類	チクングニア熱	44		
	つつが虫病	115	5	
	デング熱	416	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	289		
	日本脳炎	7		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	50		
	野兎病			
	ライム病	16		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽	2		
	レジオネラ症	2079	13	
レプトスピラ症	27			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	738	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	289	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1937	13	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	65		
	急性脳炎	745	4	
	クリプトスポリジウム症	19		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	166	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	788	4	
	後天性免疫不全症候群	1030	1	1
	ジアルジア症	43	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	473	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	42		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2693	16	
	水痘(入院例に限る)	409	8	
	先天性風しん症候群	4		
	梅毒	5703	22	
	播種性クリプトコックス症	129		1
	破傷風	112	3	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	67			
百日咳	14925	184	4	
風しん	2260	3		
麻しん	729			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	24			

トピック

<インフルエンザ流行期に入りました>

2019年第46週(11月11日～11月17日)、インフルエンザの定点医療機関あたり患者報告数が3.67(患者報告数198人/54定点医療機関)となりました。流行の目安となる1.0(人/定点)を上回り、秋田県も2019/2020シーズンの流行期に入りました(表)。今後の発生動向に注意し、感染予防に努めましょう。

■症状

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて、普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。小児や高齢の方、免疫力の低下している方では肺炎や脳症など、重症化する場合があります。

■予防

・流水・石鹸による**手洗い**は手指など体についてインフルエンザウイルスを除去するために有効であり、接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の基本的な予防対策です。指先、指の間、親指、手首も意識して洗いましょう。また、インフルエンザウイルスにはアルコール製剤による手指消毒も効果があります。

・インフルエンザ**ワクチン**は、感染後に発症する可能性を低減させる効果と発症した場合の重症化防止に対する有効性が報告されています。まだ接種していない方はご検討ください。

■咳エチケット

咳やくしゃみをする時、しぶきが2mほど飛びます。患者のしぶきには病原体が含まれ、他の人に病気をうつす可能性があります。咳をする際にはエチケットとして、マスク、ティッシュ、ハンカチ、袖などで鼻と口をおおひましょう。特に電車や職場、学校など人が集まる場所では必ず実践しましょう。

表 過去5シーズン及び今シーズンの流行期入り週

シーズン	流行期入り週
2014/2015	49週 (12月 1日～12月 7日)
2015/2016	50週 (12月 7日～12月13日)
2016/2017	46週 (11月14日～11月20日)
2017/2018	49週 (12月 4日～12月10日)
2018/2019	49週 (12月 3日～12月 9日)
2019/2020	46週 (11月11日～11月17日)



2019年/2020年シーズン (2019年第36週: 9月2日～) インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

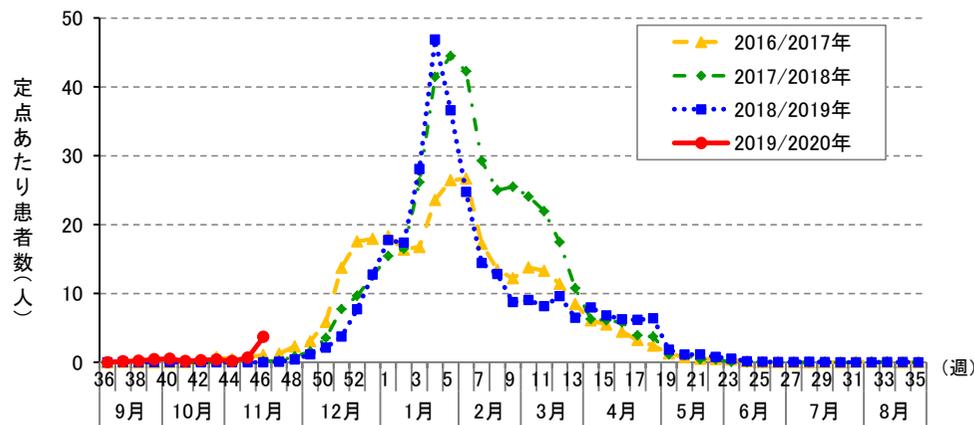


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
11/4～11/10 (45週)	11/11～11/17 (46週)	累計	10/28～11/3 (44週)	11/4～11/10 (45週)	累計
1	4	9	57	71	818

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

感染症の集団発生報告

手足口病集団発生1件、水痘集団発生2件の報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
手足口病	能代市	ニツ井子ども園	11/12	71 名のうち 13 名	28 名のうち 0 名	13 名	10/24 ~ 11/12	発熱、発疹
水痘	由利本荘市	石脇西保育園	11/15	192 名のうち 14 名	50 名のうち 0 名	14 名	10/28 ~ 11/15	発熱、発疹
	秋田市	サン・パティオこども園	11/15	93 名のうち 14 名	31 名のうち 0 名	14 名	10/30 ~ 11/15	発疹



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	湯沢(27.20)	-
水痘	秋田市(1.00)、由利本荘(1.00)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			警報			
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患	注意報 基準値(人/定点)	警報 開始基準値(人/定点)	警報 継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		